

平成 26 年度第 1 四半期決算について

平成 26 年 7 月 31 日

東京電力株式会社

平成 26 年度第 1 四半期の売上高は、前年同期比 9.1%増の 1 兆 5,685 億円（単独では同 9.9%増の 1 兆 5,322 億円）、経常利益は 525 億円（単独では 390 億円）となりました。

販売電力量は、4 月下旬の気温が前年を上回って推移し暖房需要が減少したことなどから、前年同期比 1.1%減の 598 億 kWh となりました。

内訳としては、電灯は前年同期比 1.0%減の 194 億 kWh、電力は同 2.6%減の 22 億 kWh、特定規模需要は同 1.0%減の 382 億 kWh となりました。

収入面では、燃料費調整制度の影響などにより電気料収入単価が上昇したことなどから、電気料収入は前年同期比 8.2%増の 1 兆 3,855 億円となりました。

これに地帯間販売電力料や他社販売電力料などを加えた売上高は、前年同期比 9.1%増の 1 兆 5,685 億円（単独では同 9.9%増の 1 兆 5,322 億円）、経常収益は前年同期比 8.3%増の 1 兆 5,871 億円（単独では同 9.0%増の 1 兆 5,443 億円）となりました。

一方、支出面では、原子力発電が全機停止するなか、為替レートの円安化の影響などにより燃料費が引き続き高い水準となったものの、昨年度に引き続いて、可能な限り修繕工事を繰り延べるなど全社を挙げて徹底したコスト削減に努めたことなどから、経常費用は前年同期比 2.6%増の 1 兆 5,346 億円（単独では同 3.2%増の 1 兆 5,052 億円）となりました。

また、特別損失として、単独において原子力損害賠償費 2,188 億円を計上したことなどから、四半期純損益は 1,732 億円の損失（単独では 1,832 億円の損失）となりました。

以 上

決算概要

◆連結決算

(単位：億円)

	26年度 第1四半期 〔平成26年4月1日～ 平成26年6月30日〕 A	25年度 第1四半期 〔平成25年4月1日～ 平成25年6月30日〕 B	比較	
			A-B	A/B (%)
売上高	15,685	14,377	1,307	109.1
経常収益	15,871	14,658	1,213	108.3
経常費用	15,346	14,953	393	102.6
(営業損益)	(706)	(△ 234)	(941)	(—)
経常損益	525	△ 294	820	—
特別利益	—	6,662	△ 6,662	—
特別損失	2,188	1,936	252	113.0
四半期純損益	△ 1,732	4,379	△ 6,111	—

(注) 26年度第1四半期：連結子会社数 50社 持分法適用関連会社数 16社
 25年度第1四半期：連結子会社数 58社 持分法適用関連会社数 17社
 25年度：連結子会社数 51社 持分法適用関連会社数 18社

◆単独決算

(単位：億円)

	26年度 第1四半期 A	25年度 第1四半期 B	比較	
			A-B	A/B (%)
売上高	15,322	13,938	1,383	109.9
経常収益	15,443	14,172	1,270	109.0
経常費用	15,052	14,589	463	103.2
(営業損益)	(632)	(△ 321)	(954)	(—)
経常損益	390	△ 416	807	—
特別利益	—	6,662	△ 6,662	—
特別損失	2,188	1,936	252	113.0
四半期純損益	△ 1,832	4,308	△ 6,140	—

◆販売電力量

(単位：億kWh)

	26年度 第1四半期 A	25年度 第1四半期 B	比較	
			A-B	A/B (%)
電灯	194	196	△ 2	99.0
電力	22	22	△ 1	97.4
特定規模需要	382	386	△ 4	99.0
(再掲)大口電力	(187)	(189)	(△ 1)	(99.3)
合計	598	604	△ 7	98.9

◆配当状況

	1株当たりの年間配当金 (円)			配当金総額 (百万円) (年間)	配当性向 (%) (連結)
	中間	期末			
27年3月期(予想)	0.00	0.00	0.00	—	—
26年3月期	0.00	0.00	0.00	—	—

収支比較表（当社単独）

項 目		26年度第1四半期	25年度第1四半期	比 較	
		〔平成26年4月1日～ 平成26年6月30日〕 (A) (億円)	〔平成25年4月1日～ 平成25年6月30日〕 (B) (億円)	(A)－(B) (億円)	(A)／(B) (%)
経 常 収 益	(売上高)	(15,322)	(13,938)	(1,383)	(109.9)
	電 灯 料	5,434	5,083	351	106.9
	電 力 料	8,420	7,726	693	109.0
	小 計	13,855	12,810	1,044	108.2
	そ の 他	1,588	1,362	225	116.6
益 計	15,443	14,172	1,270	109.0	
経 常 費 用	人 件 費	* (1) 1,001	844	156	118.5
	燃 料 費	6,249	6,363	△ 114	98.2
	修 繕 費	* (2) 585	579	6	101.1
	減 価 償 却 費	1,510	1,557	△ 47	97.0
	購 入 電 力 料	2,359	2,182	176	108.1
	支 払 利 息	262	287	△ 25	91.2
	租 税 公 課	940	915	24	102.7
	原子力バックエンド費用	163	122	40	133.4
そ の 他	1,980	1,733	246	114.2	
計	15,052	14,589	463	103.2	
(営 業 損 益)		(632)	(△ 321)	(954)	-
経 常 損 益		390	△ 416	807	-
原子力発電工事償却準備金		1	0	0	300.8
特 別 利 益		-	6,662	△ 6,662	-
特 別 損 失		2,188	1,936	252	113.0
税引前四半期純損益		△ 1,799	4,308	△ 6,108	-
法 人 税 等		32	0	32	-
四 半 期 純 損 益		△ 1,832	4,308	△ 6,140	-

* (1) 平成22年度第1四半期実績1,154億円と比較すると13.2%の減

* (2) 平成22年度第1四半期実績937億円と比較すると37.5%の減

(注) 億円未満を切り捨てて表示しております。

通期の見通し

平成 26 年度の業績見通しについては、現時点において、停止している柏崎刈羽原子力発電所の運転計画をお示しできる状況になく、予想を行うことが困難であることから、売上高・経常損益・当期純損益ともに未定としております。

今後、業績見通しがお示しできる状況となった段階で、速やかにお知らせいたします。

<通期の見通し>

	連結	単独
売上高	未定	未定
経常損益	未定	未定
当期純損益	未定	未定

収支諸元表（単独）

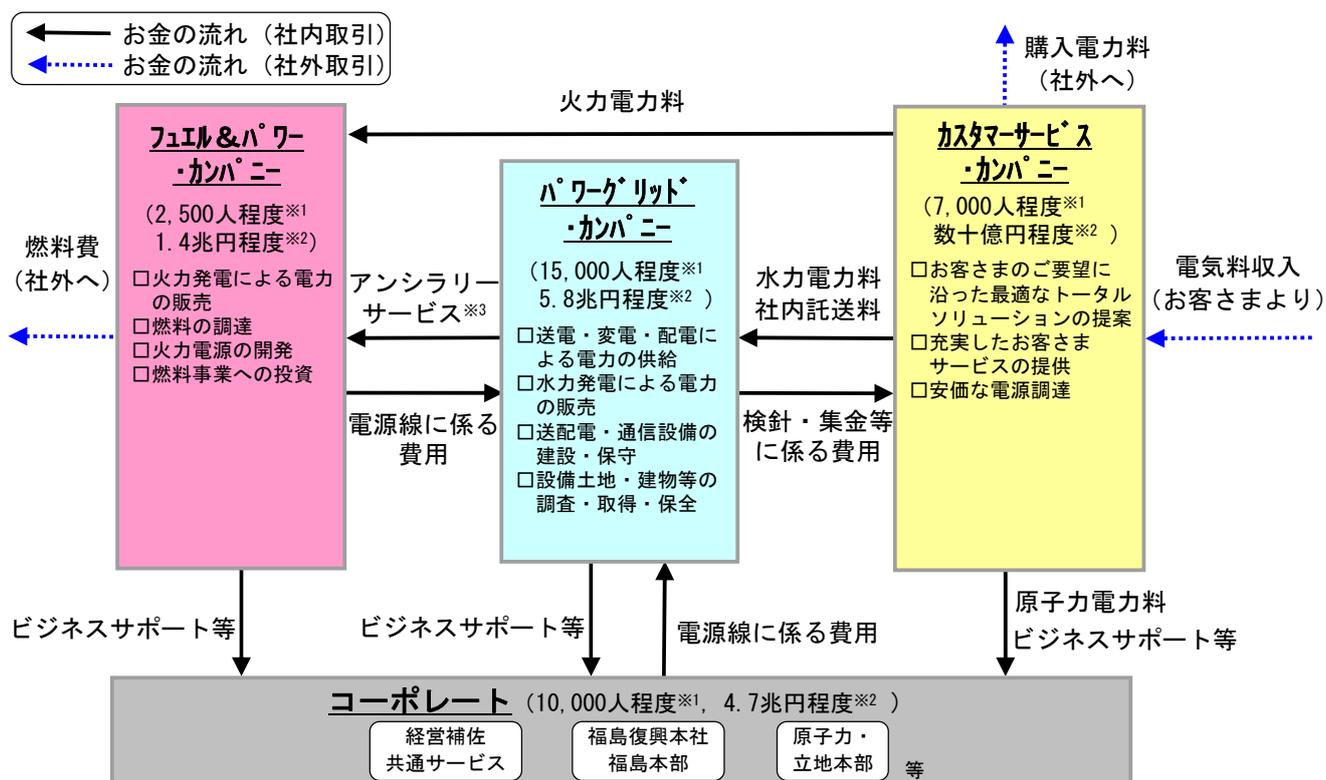
	26年度 (今回見通し)	26年度 (前回見通し)	26年度第1四半期 (実績)
販売電力量 (対前年度増減)	2,658億kWh (0.3%減)	2,686億kWh (0.7%増)	598億kWh (1.1%減)
原油価格(全日本CIF)	—	—	109.56 ^{ドル} /バレル
為替レート(インターバンク)	—	—	102.17円/ ^{ドル}
原子力設備利用率	—	—	—
出水率	—	—	99.9%
影響額			
<燃料費>			
・CIF価格 1 ^{ドル} /バレル	—	—	
・為替レート 1円/ ^{ドル}	—	—	
・原子力設備利用率 1%	—	—	
<支払利息>			
・金利 1% (長・短)	—	—	

カンパニー等の収支（単独）

	フュエル&パワー ・カンパニー	パワーグリッド ・カンパニー	カスタマーサービス ・カンパニー	コーポレート	(個別) ※ 損益計算書計上額
売上高 外部顧客への売上高 (社外取引)	80	239	14,969	31	15,322
カンパニー等間の内部 売上高又は振替高 (社内取引)	7,815	3,455	510	797	—
計	7,896	3,694	15,480	829	—
営業利益又は損失(△)	736	154	662	△ 921	632

※社内取引を控除して表示しております。

カンパニー等の概要と社内外における主な取引（単独）



※1：平成26年3月末従業員数

※2：平成26年3月末資産規模（固定資産勘定）

※3：お客さまにお届けする電気の品質（周波数や電圧）を一定に保つこと

以上